



7 | 29 母村から郷士くん参上 第26回しんとつかわふるさとまつり

ふるさと公園でしんとつかわふるさとまつりが開催され、炎天下にもかかわらず8000人の来場者でにぎわいました。

今年は、奈良県十津川村のマスケットキャラクター郷士くんが「台風12号災害でお世話になった新十津川の人たちにお礼を言いたい」と駆け付け、愛嬌のある身振り手振りで会場を沸かせました。

また、メインイベントの泥ブリッジ選手権大会では、優勝賞金10万円をかけて31人が勝負を繰り広げました。優勝は空知中央病院に勤める山田美穂さん。「賞金は職場のみなどで使います」と声を弾ませていました。



7 | 8 健脚自慢、秀峰を駆ける 第18回ピンネシリ登山マラソン

ふるさと公園とピンネシリ（標高1100m）を往復するピンネシリ登山マラソンが開かれ、足自慢のランナーたちが山道を力走しました。

今年は、雪解けによる土砂崩れでコースの一部が通行できなくなり、山頂コースが36キロに短縮されましたが、昨今の登山ブームもあってか参加者は増加。30キロコース、15キロコース、町民コース（4.5キロ）を合わせて、過去最多の42人が出走しました。

（結果は13ページ）





7 | 25 巨人軍OB熱血指導 第10回少年野球教室

ふるさと公園ピネスタジアムで少年野球教室が開かれ、ホワイトベアーズや新十津川中学校野球部などの球児60人が、元読売ジャイアンツの選手から攻守の指導を受けました。

この事業は、商工会青年部が野外慈善ビールパーティーの収益金を利用して毎年開催しているもので、今年で節目の10回目。講師には、おなじみの宮本和知さん、橋本清さんに加えて、吉村禎章さんの3人が招かれました。

吉村さんから内野守備を教わった佐々木琢くん（6年）は「ボールを捕る態勢を意識できるようになって勉強になりました。この態勢を長く続けるのはきついです、しっかり練習して身に付けたいです」と話していました。

7 | 14 愛郷の心、いつまでも

滝川市在住の新十津川町出身者で構成する新十津川望郷会滝川支部設立総会が、滝川市内の飲食店で開かれました。

出席会員は39人。初代支部長に丸山健さんを満場一致で選出したほか、地酒金滴で杯を交わしながらビンゴゲーム大会などを行い、楽しいひとときを過ごしました。

また、植田町長や長谷川町議会議長も招待され、支部の発展を願いました。



7 | 13 ちびっ子が一番列車をお出迎え

空知中央病院の保育所に通う子どもたちが、毎朝、新十津川駅に到着する1番列車の出迎えと見送りをしています。

子どもたちは、午前9時28分の到着に合わせて、先生と一緒に保育所から歩いて移動。列車が見えてくると「おはよう」とあいさつをしながら出迎えました。

病院の丹芳男理事は「雨で駅に行けなくても、子どもたちは保育所の窓から列車が到着するのを楽しみに待っています」と話していました。

